

14 番（小川義昭議員）

白山市議会は、昨年 2 月会議から代表質問制を取り入れ、今回は会派代表による 2 回目の代表質問であります。通告に従いまして、市政会からは私、小川義昭が会派を代表して質問をさせていただきます。

代表質問の前に、新型コロナウイルスに感染され、今も治療中の皆様の一日も早い回復をお祈りいたしますと同時に、お亡くなりになられた皆様の御冥福を心から念じ申し上げる次第であります。また、日夜奮闘されておられます医療従事者、エッセンシャルワーカーの皆様の献身的なお力添えにも深く感謝を申し上げます。

さて、今回の代表質問において市政会は、新型コロナウイルス対応、市民協働のまちづくりと公民館の在り方、脱炭素社会の実現に向けて、新設「デジタル課」の取組方針、加賀海浜産業道路取付け道路と周辺の道路整備、以上の 5 項目について市御当局の答弁を求めてまいります。

猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大に終息の兆しが見えない中、ワクチン接種こそが目下のコロナ禍を鎮静化させる切り札になると考えられています。白山市では、5 月 8 日より 75 歳以上を対象にファイザー社のワクチン接種が開始され、65 歳から 74 歳までの市民については、5 月 24 日から電話とインターネットによる集団接種の予約受付が行われ、ワクチン接種が開始されています。接種対応業務に当たる担当職員におかれては、大変な御苦勞であろうと拝察いたします。

しかし、白山市の接種予約もコールセンターでの電話、インターネット、市民交流センターの窓口の対応であり、電話やインターネットがつながらない、インターネットがない、平日は仕事があり窓口には行けないなどの不平不満が相次いでいるのは、周知のとおりと言わざるを得ません。

そこで質問いたします。

1 点目、本市におけるワクチン接種の順位は、1 番目が医療従事者など、2 番目が高齢者で 75 歳以上の人、次いで 65 歳から 74 歳までの人、3 番目に基礎疾患のある人、高齢者施設などの従事者、さらに 60 歳から 64 歳までの人、4 番目がそれ以外の人となっています。

最初にお伺いしたいのは、それぞれのワクチン接種順位に該当される人たちの接種状況と今後の見通しであります。

加えて、今の時点で、接種予約における事務作業上の改善点などがあればお聞かせください。